

会員制交流サイトで情報交換の体験

～にかほ市公民館市民講座～



市民講座を体験する参加者の皆さん

1月下旬から2月上旬、市内公民館で「にかほ市公民館市民講座」が行われました。

この講座は、秋田魁新報社の運営するサイト「c o m m i t (こみっと)」を使い、趣味のサークルや学校の運動部等のグループが、パソコンや携帯電話を利用し、自分たちだけの部室をつくり、情報交換やスケジュール管理をするための運営方法を学ぶものです。参加者は登録の仕方や操作方法の体験に真剣に取り組んでいました。

この講座は、2月20日午後1時から仁賀保公民館で再度開催されます。

雪国ならではの楽しみ

～にかほ雪まつり2010～

1月31日、巾山スキー場で「にかほ雪まつり2010」が開催されました。時折青空も見え、訪れた親子連れなど約300名が雪国ならではの冬の楽しみ、スキーやそり遊びなどを満喫しました。

ドーナツ型のチューブで斜面を滑り降りるチューブそりレースや、スノーモービルが引っ張るゴムボートに乗るスノーラフティングが人気で、会場は歓声と笑顔が絶えませんでした。

また、無料スキー教室が2日間行われ、子どもたちはスキー操作の基本指導を熱心に受けていました。



親子でチューブそり



奉納された大タラ

立春の2月4日、「掛魚まつり」が行われました。元禄年間から続くといわれるこの祭は、水揚げされたタラの中から、漁船ごとに1番大きなタラを神社へ奉納し、豊漁と海上安全を祈願するもので、金浦漁港から金浦山神社まで、大タラを担ぐ行列が連なりました。



元禄年間から続く

冬の奇祭

掛魚まつり

2人1組で担がれる、でっけりとした大タラの姿形。それを担ぐ人びとの行列。先導する金浦神楽の笛と太鼓のリズム。秋田の冬の奇祭を見よう



人気のタラ汁コーナー

と、多くの観光客やカメラマンが行列に同行し、神社参道に集まりました。奉納された大タラは16匹。社殿前にずらりと並べられた姿は壮観で、記念撮影のフラッシュ音がさかんに光っていました。神社向かいの勢至公園では、大漁旗が風になびく中、タラ汁の販売などが行われました。人気のタラ汁には、ことしも長い行列ができ、約1、500食が販売されました。寒波が到来した日でしたが、たくさんの人出と温かな汁で、寒さも吹き飛ばすように感じました。

旬の味、地元の食材をPR

～『んだっ鰯にかほ市へ!』～

市の魚タラを県内外にPRしようと、市商工会、観光協会などが連携した『んだっ鰯にかほ市へ!』イベントが、1月23日から2月7日までの16日間開催されました。市内の飲食店など、20の加盟店が目印となるピンクのノボリを立て、タラ料理を提供しました。

ザッパ汁や煮付けなどの定番料理から、ラーメンにタラをトッピングするアイデア料理、タラ寿司コースなどの新メニューが開発されるなど、好評のようでした。

市商工会では「冬期間のタラに限らず、今後にもかほ産食材をPRしたい」としています。



▲旬の味に舌つづみ

タラ料理のフルコース
(ザッパ汁、煮付け、子炒り、ダダミ)

全日本アンサンブルコンテスト

秋田県中央地区予選結果

▼サクソフォン4重奏

〔金賞〕金浦中学校…曲目「異教徒の踊り」

▼クラリネット4重奏

〔金賞〕金浦中学校…曲目「スリー・ラテン・ダンス」

サクソフォン4重奏

クラリネット4重奏



伊藤美波さん、須藤菜穂子さん
島淵莉子さん、竹内ひよりさん



三船悠里さん、佐藤春菜さん
今野久瑠美さん、三船真帆さん

平成21年度秋田県優良中小企業者表彰

羽後電子株式会社



代表取締役会長
阿部辰一さん

地域経済の発展に貢献してきた県内の中小企業者を表彰する、今年度、秋田県が新設した表彰制度。同社は時代のニーズを先取りした各種電子機器製造と、老人福祉施設を開設し、社員福祉研修による就業転換を図り雇用維持に努めたことなどが評価されました。